

研究機関：広島大学

| |
|---|
| 研究課題名：心臓血管外科手術における一酸化窒素吸入療法の有効性の検討 |
| 研究責任者名 広島大学大学院医系科学研究科 麻酔蘇生学 教授 堤保夫 |
| 研究期間 2021年9月3日（倫理委員会承認後） ～ 2025年3月31日 |
| <p>対象者</p> <p>2016年1月から2021年6月の間に、広島大学病院で心臓血管外科手術を受け一酸化窒素吸入療法を行った患者さん</p> |
| <p>意義・目的</p> <p>冠動脈バイパス術や僧帽弁置換術等の心臓血管外科手術後には肺高血圧症を来すことがあり、治療に難渋する場合も多いです。この際に一酸化窒素（NO）を吸入することで、肺動脈圧の降圧や酸素化の改善が期待できます。2015年よりNO吸入療法において「成人心臓手術の周術期における肺高血圧の改善」が保険適応となりその使用が増加しています（Medical Gases 2016; 18: 58-62）。本研究の目的は、心臓血管外科手術でNO吸入療法を行った症例の術中・術後管理内容を検証することで、NO吸入療法の有効性を検討することです。</p> |
| <p>方法</p> <p>本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。</p> <p>カルテから使用する内容は、患者背景（年齢、性別、身長、体重、ASA分類、病名、術式、既往歴、心機能所見、画像所見、血液データ）、術中情報（手術時間、人工心肺時間、大動脈クランプ時間、麻酔時間、麻酔法、呼吸器設定、投与薬剤、血圧などのVital Sign、心機能所見、水分バランス、NO投与時間・投与量）、術後情報（Vital Sign、水分バランス、処置の時間と内容、呼吸器設定、投与薬剤、NO投与時間・投与量、心機能所見、画像所見、集中治療室滞在日数、入院日数、転機）などです。</p> <p>（個人を特定可能な情報は解析に用いません）</p> |
| <p>共同研究機関</p> <p>ありません。</p> |
| <p>試料・情報の管理責任者</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科 麻酔蘇生学 教授 堤保夫</p> |
| <p>個人情報の保護について</p> <p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p> |
| <p>問合せ・苦情等の窓口</p> <p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5267 広島大学病院 麻酔科 助教 加藤貴大</p> |